

事業番号	05 06 19		事業改善シート（28年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	難病対策推進事業				担当課	部局	健康福祉部	
						課・局・室	保健・疾病対策課	
総合5か年計画	プロジェクト			E-mail		hoken-shippei@pref.nagano.lg.jp		
	施策の総合的展開	6－1 健康で長生きできる地域づくり 5 疾病対策の推進		実施期間		H6 ～		
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針							
	施策展開							

1 事業の概要

目指す姿	1 難病患者等に対し、総合的な相談・支援や地域における受入れ病院の確保を図るとともに、在宅療養上の適切な支援を行うことにより、安定した療養生活の確保と難病患者及びその家族の生活の質の向上に資することを目的とする。 2 白血病など血液疾患治療のため、骨髄バンク登録を希望する県民に対し、登録しやすい環境を整備する。											
現状 (予算編成時)	1 保健福祉事務所における難病患者地域支援対策推進事業、難病相談支援センター事業の実施(信州大学医学部附属病院に委託)、難病医療提供体制整備事業(信州大学医学部附属病院に委託)、難病患者等ホームヘルパー養成研修会実施 2 赤十字血液センターで登録できる諏訪・松本・長野以外の、佐久・上田・伊那・飯田・木曽・大町・北信の7保健福祉事務所において登録窓口を設置し、採血(検体)を実施。検体を長野県骨髄ドーターセンター(長野県赤十字血液センター内)へ送付。											
県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他)			【左記の説明、根拠法令等】 1 難病の患者に対する医療等に関する法律(平成27年1月1日施行) 平成10年4月9日健医発第635号厚生省保健医療局長通知「難病特別対策推進事業実施要綱」 2 「骨髄提供希望者登録事業について」(平成16年2月23日付健発第0223001号厚生労働省健康局長通知)								
	県民との協働による実施： 実施中											
成果目標・事業内容	① 成果目標(H28) 難病患者に対する適切な療養支援と関係者の支援を行うために実施する相談事業(10か所×6回)や研修会(受講者数150名×1回)を開催する。 また、難病患者の病状の悪化による入院に対応する病院を29年度までに26施設が連携病院数となるよう段階的に整備する。											
	② 事業内容 (単位:千円)											
	項目		実施方法	H28事業実績		H28		H29				
						(当初)	(決算)	(当初)				
	難病地域支援対策推進		直接	保健福祉事務所相談会等開催 80 回		1,486	1,160	1,526				
	難病相談支援センター事業		委託	相談、患者会支援、研修開催 2868回 委託先:信州大学医学部付属病院		14,492	14,492	14,463				
	難病医療提供体制整備事業		委託 直接	入院調整16件、短期一時入院施設支援65件 委託先:信州大学医学部付属病院		3,977	2,039	2,779				
	難病患者等ホームヘルパー養成研修会		直接	難病基礎課程Ⅰ 県内2会場で開催		98	84	87				
	骨髄提供希望者登録推進事業		直接	登録窓口を設置し、採血(検体)を実施		45	0	286				
				合計		20,098	17,775	19,141				
事業コスト	区 分(単位:千円)	27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況							
	予算額	前年度繰越				項目	H26末	H27末	H28			H29 目標
		当初予算	20,683	20,098	19,141				目標	成果	達成状況	
		補正予算				難病医療相談	相談会 56回	相談会等 60回	相談会等 60回	相談会等 80回	達成	相談会等 60回
		合計(A)	20,683	20,098	19,141							
	Aの財源	一般財源	10,371	10,072	9,714	難病相談支援センター事業研修会	受講者 180人	受講者 159名	受講者 150人	受講者 58人	未達成	受講者 150人
		県 債										
		国庫支出金	10,312	10,026	9,427	医療提供体制整備	連携病院 12	連携病院 19	連携病院 22	連携病院 26	達成	連携病院 26
		その他	0	0	0							
	決 算 額(B)		18,227	17,775		難病患者等ホームヘルパー養成研修会	2 回開催 51名参加	県下 2 会 場で開催	県下 2 会 場で開催	県下 2 会 場で開催	達成	県下 2 会 場で開催
	概 算 人件費	職員数(人)	5.60	5.60	5.60							
		概算人件費(C)	46,346	44,318	44,318							
	概算事業費(B(A)+C)		67,029	62,093	63,459	7保健福祉事務所において登録窓口を設置し、採血(検体)を実施	7 所	7 所	7 所	7 所	達成	7 所
目標に対する成果の状況	難病医療相談は、保健所及び難病相談支援センターが連携し、患者・家族を対象とした交流会や学習会を開催し、日頃の悩みや不安を話せる機会、またそれぞれが情報交換を行う機会となり、参加者から好評であった。支援者への研修を充実させ、昨年度に比べ開催回数が増加した。 難病相談支援センター事業研修会は、コミュニケーション支援をテーマに取り上げ、実務者を対象として機器を使用した研修会とした。より実務的な研修であり、参加者からは好評であったが、機器に数の限りがあり、受講人数は目標より少なくなった。											

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	引き続き、難病患者の療養生活の充実を図るよう、難病医療相談会の内容等を充実させる。医療提供体制は、難病医療コーディネーター及び保健所が中心となり、連携強化のため支援を実施する。